

時短エクセル(第25回)

万年カレンダーの祝日にも色を付ける

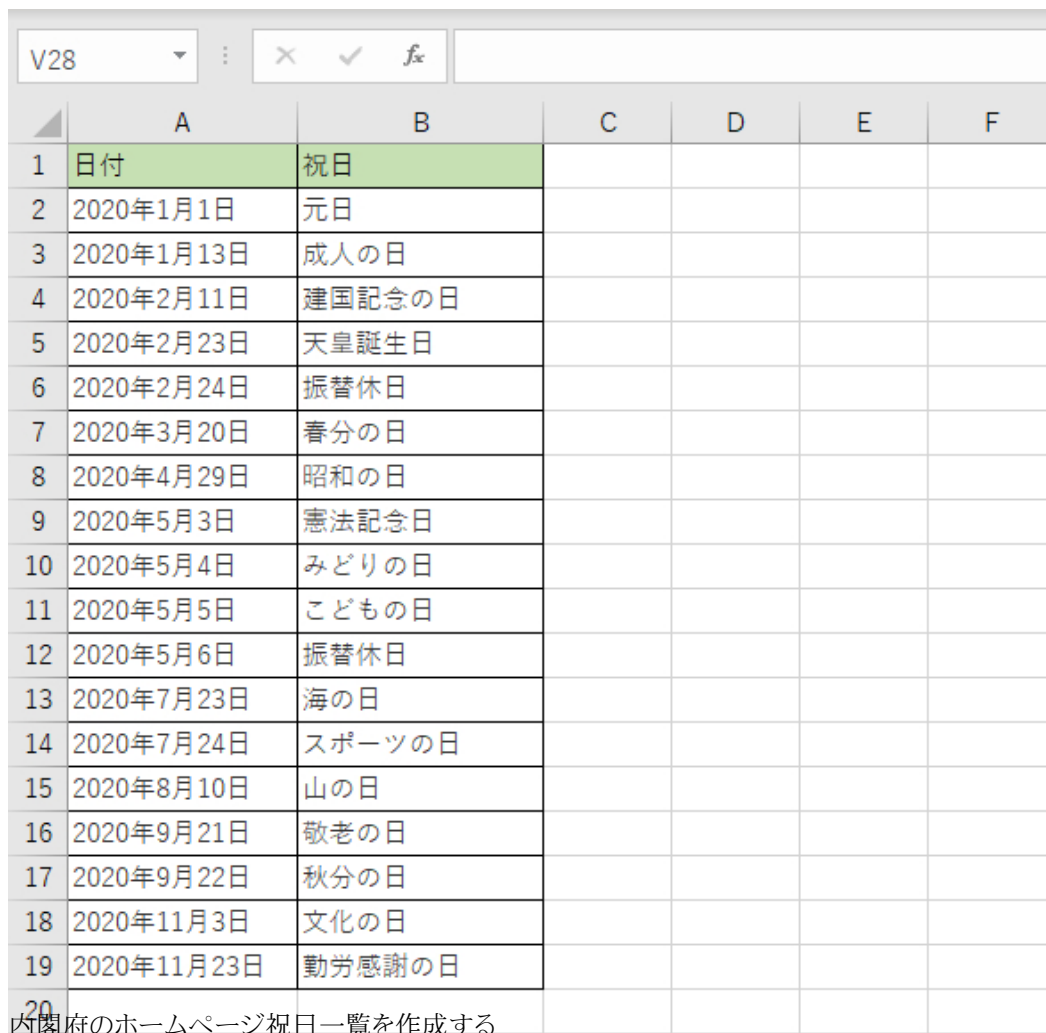
2020.01.06

前回は、ビジネスシーンでよく使う条件付き書式のケーススタディーをいくつか紹介した。その中で「土日に色を付けた万年カレンダー」の作り方を紹介したが、今回はそれに加え「祝日にも色を付ける」方法を紹介しよう。

祝日一覧を作成する

まずは、祝日一覧を作成しよう。今年オリンピックイヤーということもあり、2020年に限り移動された祝日もある。国民の祝日や休日は内閣府のホームページに掲載されている。体育の日は「スポーツの日」という名称に変わり、今年に限り7月24日に移動されるようだ。

祝日一覧は、カレンダーとは別のシートに作成しておこう。シートの「+」マークをクリックすると新しいシートが追加できる。

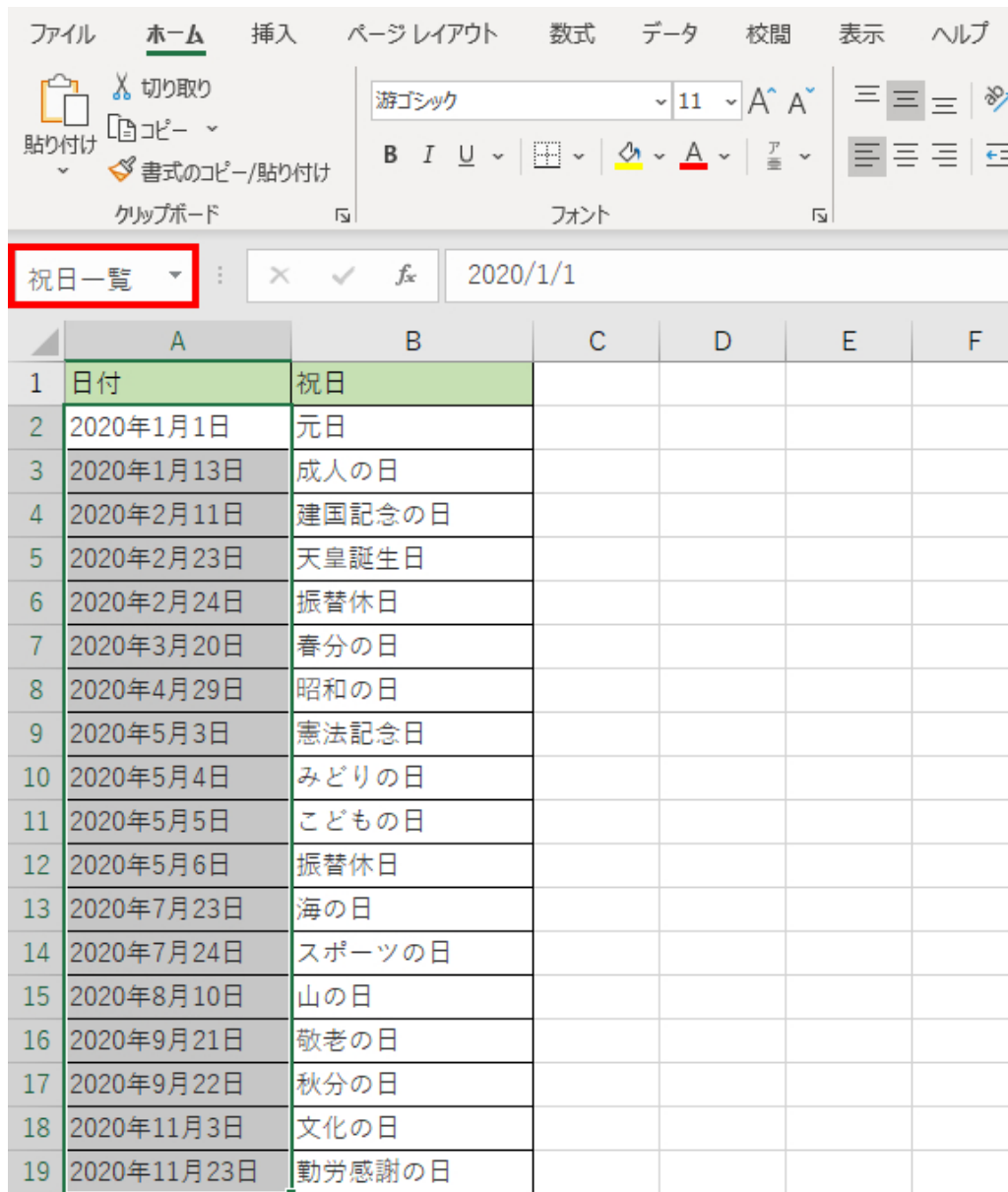


	A	B	C	D	E	F
1	日付	祝日				
2	2020年1月1日	元日				
3	2020年1月13日	成人の日				
4	2020年2月11日	建国記念の日				
5	2020年2月23日	天皇誕生日				
6	2020年2月24日	振替休日				
7	2020年3月20日	春分の日				
8	2020年4月29日	昭和の日				
9	2020年5月3日	憲法記念日				
10	2020年5月4日	みどりの日				
11	2020年5月5日	こどもの日				
12	2020年5月6日	振替休日				
13	2020年7月23日	海の日				
14	2020年7月24日	スポーツの日				
15	2020年8月10日	山の日				
16	2020年9月21日	敬老の日				
17	2020年9月22日	秋分の日				
18	2020年11月3日	文化の日				
19	2020年11月23日	勤労感謝の日				
20	内閣府のホームページ	祝日一覧を作成する				

表に名前を付ける

関数で祝日一覧表を指定する場合、「A2:A19」と指定するのはやや面倒だし、セル番地が1つでもずれるとエラーになってしまう。表に名前を付けておくと、関数でもその名前を指定すればよいので視覚的にも分かりやすい。

付け方は超簡単。名前を付けたい範囲をドラッグし、「名前ボックス」に分かりやすい名前を付けるだけ。ここでは、見出し行を除いて範囲を指定しよう。



The screenshot shows the Microsoft Excel interface. The ribbon is set to 'ホーム' (Home). The font settings are '游ゴシック', size 11. The formula bar shows '2020/1/1'. Below the ribbon, a table is displayed with columns A through F and rows 1 through 19. The table contains a list of holidays for 2020. The '祝日一覧' dropdown menu is highlighted with a red box.

	A	B	C	D	E	F
1	日付	祝日				
2	2020年1月1日	元旦				
3	2020年1月13日	成人の日				
4	2020年2月11日	建国記念の日				
5	2020年2月23日	天皇誕生日				
6	2020年2月24日	振替休日				
7	2020年3月20日	春分の日				
8	2020年4月29日	昭和の日				
9	2020年5月3日	憲法記念日				
10	2020年5月4日	みどりの日				
11	2020年5月5日	こどもの日				
12	2020年5月6日	振替休日				
13	2020年7月23日	海の日				
14	2020年7月24日	スポーツの日				
15	2020年8月10日	山の日				
16	2020年9月21日	敬老の日				
17	2020年9月22日	秋分の日				
18	2020年11月3日	文化の日				
19	2020年11月23日	勤労感謝の日				

見出し行を除いた表部分(A2:A19)をドラッグし、名前ボックスに「祝日一覧」と入力して「Enter」キーを2回押す

もし、「名前を付け間違えた」「削除したい」などの場合は、「数式」タブの「名前の管理」をクリックすると、編集したり削除したりできる。

祝日一覧を条件付き書式で指定する… 続きを読む